

1 「いのち」を大切にすることを育む教育の推進

- ◆「いのち」を大切にすることを育む
 - 県内すべての学校で「いのちの授業」を展開
 - 「いのちの授業」を受けた作文を募集、大賞の表彰式を実施
- ◆人権の尊重、いじめの未然防止、課題を抱えた児童・生徒への支援
 - スクールカウンセラーを配置（全公立中学校175校（除政令市）、県立中等教育学校2校、県立高校拠点校58校（142校中））
 - スクールソーシャルワーカーを配置 教育事務所24名、県立高校10名 ⇒ 教育事務所30名（6名増）、県立高校20名（10名増）
 - 「かながわ元気な学校づくり地域生徒代表総会」等を開催、いじめのない学校づくりの取組事例の情報交換等を実施
- ◆規範意識と公共の精神の醸成に向けた道徳教育の充実
 - 学校・家庭・地域の連携による特色ある道徳教育を実施

2 生きる力を育み、学び高め合う学校教育の推進

- ◆確かな学力の向上とキャリア教育の実践・職業教育の充実
 - 確かな学力向上のため、組織的な授業改善や神奈川県学習状況調査を実施
 - 組織的な授業改善の一層の推進のため、授業力向上推進重点校（6校）を指定 < 県立高校改革実施計画（I期） >
 - 高校生・大学生を対象に、自身のライフプランをデザインする機会を提供するための普及啓発を実施
 - 「わたくしたちの生活と進路」（中学校3年間をとおした進路の実践事例集）を公立中学校に配付
 - 各県立高校で「キャリア教育実践プログラム」を作成し、生徒ニーズ等を踏まえたキャリア教育の推進
 - 企業連携による商品開発、ものづくりマイスターや技能五輪出場選手の高校への派遣等の県立高校での専門教育の推進
 - 学習意欲を高め、学びの質の向上及び課題解決を図るため「かながわ学びづくり推進事業」を実施
- ◆遊び・運動の奨励、健康・体力づくりの推進、食育の普及啓発
 - かながわ食育フェスタの開催
 - 子どもの頃からの、未病対策の重要性の普及・啓発
 - 子どもキラキラ☆プロジェクトの実施
 - ・体力向上キャラバン隊派遣 10校 ⇒ 26校（16校増）
 - ・運動習慣カードの作成・配布
 - 「かながわ産品学校給食デー」や「かながわ学校給食地場産物利用運動」を実施
- ◆国際バカロレア認定校の設置、「逆さま歴史教育」などによるグローバル人材の育成
 - 認定校の設置を目指した教育課程等の検討
 - 生徒の英語力向上のため、英語資格等試験の受験料補助
 - 逆さま歴史教育指導法の研究開発
- ◆ICTを活用した効果的な授業等による情報化に対応した人材育成
 - タブレット型端末やプロジェクターを活用した組織的な授業改善の推進 < 県立高校改革実施計画（I期） >
- ◆インクルーシブ教育の推進、特別支援教育の充実
 - 障がいのあるなしにかかわらず、すべての子どもが通常の学級で共に学びながら、必要ときに別の教室で適切な指導を受けられる「みんなの教室」モデル校に中学校1校を指定、実践研究を実施 ⇒ 「みんなの教室」モデル校を7校、4市町に拡大。県立高校3校をインクルーシブ教育実践推進校（パイロット校）に指定 < 県立高校改革実施計画（I期） >
 - インクルーシブ教育推進のためリーフレットを県内すべての学校に配付、教職員向け活用研修を実施
 - 特別支援学校生徒の社会参加等を進めるためタブレット型端末等の配備・パソコン270台、タブレット308台、プロジェクター、無線LANの整備 ⇒ パソコン44台、タブレット438台純増

3 豊かな学びを支える教育環境づくり

- ◆意欲と指導力のある教職員の確保・育成
 - 多様な人材確保のため資格要件を緩和した社会人経験者特別選考等を実施
 - 教員志望者へ「かながわティーチャーズカレッジ」を実施
 - 「人格的資質」、「課題解決力」、「授業力」等を高める教職員研修の実施
- ◆小中一貫教育校の導入、県立高校の再編・統合
 - 公立高校と私立高校が協力し「神奈川の高校展」を開催
 - 小中一貫教育モデル校として3地区（海老名市、秦野市、箱根町）を指定し取組を支援 ⇒ 新たに真鶴町を加え県内4地区をモデル校に指定
 - 「県立高校改革実施計画（全体）及び（I期）」を策定し、再編・統合等を推進
- ◆安全安心で快適に学べる教育環境の整備
 - 平成28年度以降、「県立学校施設再整備計画」（新まなびや計画）により、県立学校の総合的な施設整備を実施
 - ・ 県立学校における耐震・老朽化対策の実施
 - ・ 県立学校のトイレの洋式化を平成35年度末までに完成
- ◆地域の方や企業の協力による、学校教育支援の取組みの推進
 - 退職教員や民間企業等の地域人材を活用した講演会等の実施

4 子ども・子育て、家庭教育への支援

- ◆幼児期の教育・保育環境、小学生の放課後対策の充実
 - 認定こども園・小規模保育事業の整備
 - 放課後子ども教室に対し、設置、運営経費の一部を補助（県内22市町村107か所） ⇒ 県内23市町村115か所に拡大
 - 放課後子ども教室を担うコーディネーターや教育活動推進員等を対象とした研修会の実施（5回）
 - 平成28年度から、朝の子どもの居場所づくり事業として、2市町3教室でモデル事業を実施
- ◆地域や企業の理解・協力による、家庭教育の支援
 - 事業者を通じて、従業員に家庭教育啓発資料を配付
- ◆高校生等の一人ひとりの家庭環境に応じた就学支援
 - < 高等学校奨学金 > 成績要件を廃止し、奨学生を募集
 - < 高校生等奨学給付金 > 対象者への確実な給付のため高等学校等を通じた周知や、対象者や給付額を拡充して実施
 - < 高等学校等就学支援金 > 新入生の合格発表時に申請書を配付し、数回にわたり受付を実施

5 様々な学びを通じた地域の教育力の向上

- ◆コミュニティ・スクールを活用した地域の教育力の向上
 - モデル校（県内5幼・小・中学校）を指定し、コミュニティ・スクール運営に関する研究・開発を実施 ⇒ 11校（小学校9校、中学校2校）をモデル校とし、地域住民等との連携・協働を推進
 - 平成31年度までにすべての県立高校でコミュニティ・スクールを指定 ⇒ 県立高校5校を指定 < 県立高校改革実施計画（I期） >
- ◆学校を地域の核とした、地域の学習、社会参加や貢献の機会の充実
 - 県立学校や県立社会教育施設の人的・物的資源を活用した公開講座の実施
 - 社会教育主事等を対象とした、様々な課題に対応するための人材を育成するコース別研修を実施
 - 障がいのある児童・生徒への理解を促進するため、地域の方々向けの公開講座や地域との協働による防災活動やイベントへの参加

6 文化・芸術やスポーツ活動など生涯学習社会における人づくりへの支援

- ◆マゲカル（マグネット・カルチャー）の取組みの展開
 - マゲカル・パフォーミングアーツ・アカデミーの実施
 - 青少年センターの施設を無料開放するマゲカル劇場の充実
- ◆社会教育施設における生涯学習の機会の充実・文化遺産の保存・活用
 - 博物館等の社会教育施設における展覧会、調査研究などの実施
 - 神奈川県図書館情報ネットワークの整備による県民への情報提供の充実
 - 国・県指定文化財等の保存修理・整備等に関する補助を実施
 - 中学生を対象とした文化財保護ポスター事業を実施
- ◆伝統芸能の継承者の育成支援
 - 日本舞踊を通して和の作法を体験する小中学生向けワークショップなどを実施
 - 国・県指定民俗文化財の伝承活動に関する補助を実施
- ◆オリンピック・パラリンピックを見据えたアスリートの育成、県立体育センターの再整備
 - 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会への出場が有望なアスリート及びその指導者を育成
 - 体育センター再整備に向けたPFI事業者の選定手続や、グラウンド改修工事などの実施
- ◆かながわパラスポーツの普及
 - 「かながわパラスポーツフェスタ2016」を県内2か所で開催
 - 「かながわパラスポーツコーディネーター」養成会の開催
 - 小・中・高校でパラスポーツの体験授業やパラリンピアン等による講演の実施
 - パラスポーツ種目を体験するスポーツ教室の実施
 - 神奈川県障害者スポーツ指導者及び障害者スポーツサポーター養成講習会の開催